

# SS-Lecture 第6回講座

## 「火山ガスをはかる」

平成30年11月30日(金) 本校

東京大学大学院理学系研究科 森 俊哉准教授をお招きし、「火山ガスをはかる」というテーマでご講演いただきました。

まずはじめに、火山活動の状況を把握するためには、火山ガスを測ることが重要であることについての説明をいただきました。火山ガスは、噴煙とは異なり、目に見えない透明なガスであるとのこと。これを、活火山の火口で採取することは、きわめて危険が伴うため、火山ガスを可視化する工夫を行っており、「火山ガスは紫外線を透過させない」という性質を用いて、紫外線を感知する装置を開発し、観測を行っているというお話をいただきました。

後半部分では、紫外線を感知する装置を用いて、火山ガスを観測するメカニズムを体感させていただきました。また、実際の観測映像なども見せていただき、火山ガスの観測の実際を知ることができました。

以下、生徒の感想の一部です。

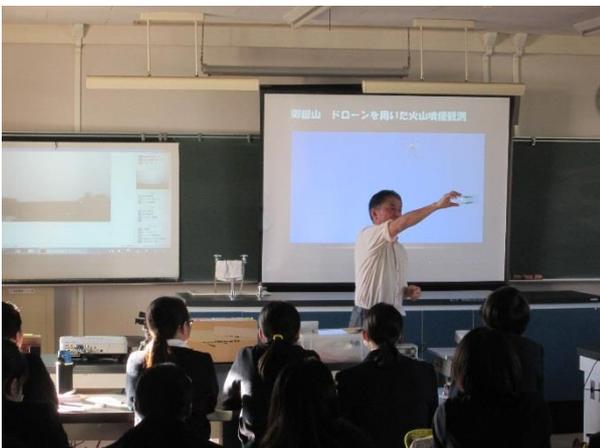
「火山についてとても詳しく知ることができました。特にガスの有毒性や観測方法に関するところが印象的でした。中学生の時に習ったことで火山について知っている気になっていましたが、今回の講演で、火山の奥深さを感じました。」「火山ガスのことから紫外光まで普段の実生活では感じることのできない世界の知識を得ることができ、とても有意義な時間となりました。科学にも改めて興味を持つことができたので良かったと思います。」など、火山の奥深さについて、ふだんの生活では考えることのない領域にまで思考を広げる機会になったようです。



さまざまな火山の紹介



火山ガスを可視化するメカニズムの体感



火山ガス可視化のシミュレーション



「眼鏡のレンズは紫外線を通すか」についての確認